

# 企画開発推進事業費（「こんな長崎どがんです会」開催経費）

## 事業の目的

【政策企画課 予算額1,351千円】

- 本県の現状・課題を把握し今後の県政運営や諸課題の解決へ繋げるため、知事と県民が直接対話する場を設置・開催

## 事業の概要

- 知事と県民が直接対話する場である県民車座集会を以下の名称で実施

### 『こんな長崎どがんです会』

長崎のいまと未来を、あなたはどがん考えているか、教えてください。

テーマや地域ごとに県民との意見交換

しまの魅力発信

スマート農業

若者の活躍

女性活躍

子育て

水産振興



※記載のテーマは例示です

# 長崎県産品海外PR推進事業費

## 事業の目的

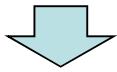
【物産ブランド推進課 予算額5,734千円】

- 県産品のブランド化及び販路拡大を図るため、定期航空路線開設等の取組と連携し、百貨店や飲食店等を活用したプロモーションを実施

## 事業の概要

### 〈リアル開催でのプロモーション〉

- 台湾及び香港における百貨店等での県産品フェアの開催  
定期航空路線開設等を踏まえ、現地消費者に対しアプローチ
- 中国における飲食店での県産品フェアの開催  
海外における日本食料理店の増加等を踏まえ、現地消費者に対しアプローチ
- 福建省友好県省締結40周年記念事業と併せた商談会等の実施  
福建省との友好県省40周年記念事業の場を活用した県産品の魅力発信



長崎県の知名度向上や県産品のブランド化、販路拡大へつなげる

※海外ECサイトでのプロモーションについても、令和4年度第1号補正にて計上済み。

# 戦略的情報発信推進事業費

## 事業の目的

【観光振興課 予算額 17,317千円】

- 観光客の誘客促進を図るため、WEBメディア等による効果的な情報発信に加え、知事自らトップセールスを実施し、本県の魅力を県外へ強力に発信

## 事業の概要

### 効果的な情報発信

- <WEBメディア等を活用した情報発信>
  - ◆WEBマガジンでのターゲティング広告
  - ◆SNSプロモーショングループとのタイアップ
- <インターネット記事発信>
  - ◆「#ナガサキタビブ」によるブログ記事

わくわくする旅、シェアしよう  
**#ナガサキタビブ**



### 知事トップセールス

- ◆観光PR動画等の制作・配信
- ◆関西圏におけるイベント開催やセールス実施



長崎観光/旅行ポータル  
サイト「ながさき旅ネット」

# (新)「みんなで磨く！観光まちづくり」推進事業費

## 事業の目的

【観光振興課 予算額 67,056千円】

- 交流人口・関係人口・移住人口の拡大に向け、市町や観光関係団体等による観光まちづくりの取組を支援するとともに、県民と一体となった情報発信を実施

## 事業の概要

### 地域の魅力の磨き上げ

- ◆地域住民を主体とした移住・定住の拡大にもつながるような観光まちづくりの取組を支援

- ・支援対象：市町、観光協会、まちづくり会社等
- ・上限額：10,000千円＜補助率1/2以内＞

#### 重点分野

- ◎食分野 ◎地場産業
- ◎伝統・文化 ◎コミュニティ



### 地域の魅力発信

- ◆観光まちづくりの取組や地域の魅力について知事のコメント等を交えてPR

#### 魅力づくり

地域主体のまちづくりを民間視点も取り入れ支援

#### 発信

知事及び県民自らが地域の魅力を県内外へ強力に発信

#### 貢献

交流人口の拡大や人口減少対策への貢献

# 地域と関わる関係人口創出事業費

## 事業の目的

【地域づくり推進課 予算額 23,121千円】

- リモートワーク・ワーケーション等の県内受入の促進とともに、都市住民と地域をつなぐ仕組みづくりを通して、関係人口の創出・拡大により地域活性化を推進

## 事業の概要

### 都市部へ向けたプロモーション

R4当初予算・6月補正予算

- ・リモートワークポータルサイトやSNS等への誘導を目的に、動画等を活用したプロモーションを実施
- ・県内地域の魅力、ワーク環境、モデルコース等を紹介する『リモートワーク等ガイドブック』を作成

### マッチングイベント・ツアー

6月補正予算

- ・都市部企業を対象に、マッチングイベント(セミナー等)を開催
- ・実際に県内を回り、ワーク環境等を視察してもらうマッチングツアーを実施

### 【新】オンラインコミュニティ構築

6月補正予算

- ・長崎に興味・関心のある外部のひとたちと、地域のプレーヤーとのつながり・コミュニティをつくり、継続した交流を通じて興味・関心・関わり度を高め、『ながさき暮らし』への思いを強めることで、具体的な移住相談につなげる。



# 地域コミュニティ活力向上促進事業費

## 事業の目的

【地域づくり推進課 予算額 16,606千円】

- 持続可能な地域づくりに向けて、市町と一体となった集落対策を推進するとともに、地域住民が主体となった地域活動を創出する仕組みを構築することで、集落・地域コミュニティの維持・活性化を促進

## 事業の概要

### 集落対策研修会・集落アドバイザー

R4当初予算・6月補正予算

- ・地域運営組織の設立に向けた意識醸成を目的とした市町職員向けの研修等を実施
- ・市町等からの依頼により、外部専門家や実践者をアドバイザーとして派遣

### 集落維持対策補助金

6月補正予算

- ・地域運営組織の立ち上げや小さな拠点づくりを進める市町の取組を支援

### 【新】地域づくりプラットフォーム構築

6月補正予算

- ・地域活動の先進事例の深掘りを契機とした人材のネットワークづくりのための住民参加型講座を開催するとともに、WEBを活用して地域のキーパーソンを情報発信することで、県内各地における地域づくりを推進するためのプラットフォームを構築



# 離島航空路線確保対策事業費

## 事業の目的

【交通政策課 予算額 183,569千円】

- 離島住民の生活に必要不可欠な離島航空路線の安定的確保を図るため、ORCの機材更新を支援

## 事業の概要

### ORC導入の機材更新の支援

6月補正予算

- ・現行機(DHC-8-200)及び後継機(ATR42-600)の導入について、減価償却期間に合わせた支援を実施

#### 【ATR(2機)更新の負担割合】

- ハード:国45%、県45%、ORC10%
- ソフト:離島3市2/3、ORC1/3

※長崎県離島航空路線再生協議会で支援スキームを決定しており、関係者一体となった支援を展開

DHC-8-200(中古機)の支援を継続中



ATR42-600 (ATR社)

・席数: 48席  
(現行機39席から23%増加)

令和5年度後半に1号機就航、  
令和7年度からATR2機体制で  
就航開始予定

# しま旅滞在促進事業費

## 事業の目的

【観光振興課 予算額 312,048千円】

- 国境離島地域における観光客の回復及び消費喚起を図るため、地域ならではの資源（自然、食、歴史、文化など）を活用した魅力ある旅行商品の造成・販売促進に対する支援等を行う。

## 事業の概要

- 国境離島地域における観光客の回復及び消費喚起を図るため、旅行商品等に対する割引支援及び宿泊・飲食・交通に利用できるクーポンを発行
  - 旅行商品等割引
  - 5,000円／人泊（最大3泊）クーポン発行 ‣ 延べ送客人数：約2.8万人泊
  - 誘客促進に係る情報発信等



# (新)稼ぐ農山村チャレンジ支援事業費

## 事業の目的

【農山村振興課 予算額8,678千円】

- 農山村地域の稼ぐ仕組みづくりを推進するため、地域貢献活動に取り組む直売所の経営基盤強化や農泊の推進に向けた受入体制整備、誘客促進等を実施

## 事業の概要

### 農産物直売所の人材育成・生産体制強化支援

- ◆人材育成に係る販売力・企画力・情報発信力等のセミナーや専門家による現地指導の実施
- ◆地域貢献に取り組む直売所のステップアップに向けた取組支援

直売所セミナー



地域貢献支援

### 農泊の推進

- ◆国内外からの誘客促進に向けた情報発信や実践者的人材育成等による受入体制整備の実施
- ◆教育旅行の誘客促進とSDGs体験プログラム等の開発支援



誘客促進



農村体験

# 運営費交付金(県内就職支援員関係)

## 事業の目的

【学事振興課 予算額4,900千円】

- 県立大学の県内就職率の向上を図るため、学生と県内企業の接点の強化を推進する県内就職支援員を配置

## 事業の概要

- 県立大学に県内就職支援員を新たに配置し、企業への働きかけ等を通じた採用枠の開拓や学生と企業の接点を強化することにより県内就職を促進

### ○個別学生への働きかけ(低学年からの意識の醸成)

- ・県内企業情報を授業の素材として活用
- ・教員と連携した情報の提供
- ・学生との個別面談
- ・インターンシップ企業への就職促進

### ○個別企業への働きかけ

- ・新たな就職先の開拓
- ・採用数の拡大
- ・県内企業推薦枠の開拓



# ながさきUターン魅力発信事業費

## 事業の目的

【地域づくり推進課 予算額 19,188千円】

- 潜在的な移住予備軍である本県出身者等をターゲットとして、効果的なプロモーションを行うとともに、移住者向けの子育て情報等の発信強化

## 事業の概要

### 【新】 Uターン促進キャンペーン

R4当初予算・6月補正予算

- ・年末にかけて移動が増える時期を見据え、県、市町等が一体となって移住相談会等の移住に関連する各種取り組みを展開するとともに、移住関連情報や長崎の魅力などを特設サイト等で、強力且つ集中的に情報発信するキャンペーンを実施

### よか・ひと・しごと・くらし魅力発信事業

6月補正予算

- ・SNS等での情報発信、WEB広告等を活用したプロモーション等を実施

### 【新】 子育て世代向けの情報発信の強化

6月補正予算

- ・『ながさき子育てブック』をリニューアルし、内容の充実を図る。
- ・県内の子育て情報をHP「移住ナビ」に掲載し、移住候補者のセグメントに応じたターゲット配信を行うなど、プッシュ型の情報発信を実施



# 移住・創業・地域貢献支援事業費

## 事業の目的

【地域づくり推進課 予算額 101,111千円】

- 国の制度や交付金等を活用し、都市部からの移住を促進するとともに、地域の雇用創出につながる創業や事業拡充を支援

## 事業の概要

長崎県に  
移住します！



### ◆ 移住支援

R4当初予算



1世帯あたり100万円を給付

- ✓ 地方に移住する東京23区在住または通勤者
- ✓ 県指定の中小企業等に就業した場合に給付
- ✓ 108件分（単身向け含む※子育て加算あり）  
(国1/2 県1/4 市町1/4)

### ◆ 創業支援

R4当初予算



事業費400万円まで、最大200万円を補助

- ✓ 創業予定者（移住者に限定しない）
- ✓ 地域への波及効果が期待される事業、  
地域課題の解決に資する事業など
- ✓ 30件分（国1/4 県1/4 事業者1/2）

### ◆ 地域貢献支援

6月補正予算

事業費600万円まで、最大400万円を補助



- ✓ 過疎地域や半島地域等の従業員30人未満の中小企業者等
- ✓ 地域課題の解決や地域活性化に直接的につながる事業など  
※新たな雇用増が要件
- ✓ 50件分（国1/3 県1/6 市町1/6 事業者1/3）



# 高校生の県内就職促進事業費

## 事業の目的

【若者定着課 予算額5,632千円】

- 生徒や保護者に対して県内就職の魅力を伝えるとともに、学校と県内企業の連携を強化し、高校生の県内企業への就職を促進

## 事業の概要

### 工業高校生と製造業・建設業の広域合同企業説明会

- 高校生がより広域的に県内企業を知る機会を確保することにより、高校生の県内就職促進および、県内企業の人材確保を図るための合同企業説明会を開催
- 就職する生徒が多い工業高校生と、人材ニーズが高い県内製造業・建設業の企業の参加を予定

【実施時期】 令和5年1月下旬

【参加高校】 県内工業高校及び工業系学科がある高校(2年生)

【参加企業】 県内製造業・建設業100社程度



# 学生と企業の交流強化事業費

## 事業の目的

【若者定着課 予算額1,980千円】

- 県内学生の県内就職を促進するため、県内の学生が運営する就職支援団体と連携した企業と学生の交流イベント及び情報発信を実施

## 事業の概要

### ラフスタイルな企業交流会の実施

- 学生が気軽に参加したいと思わせる企業との交流会を開催するため、イベントの企画・運営・集客の全般にわたり、学生就職支援団体との連携により実施



### 学生による県内企業の魅力発信

- 県内企業の魅力を学生目線で伝えるため、学生就職支援団体が県内企業を訪問・取材し、学生による企業紹介をNなび等のツールで情報発信



# 県外進学者Uターン就職促進事業費

## 事業の目的

【若者定着課 予算額2,760千円】

- 県外学生のUターン就職を促進するため、福岡県内大学を対象とした企業と学生の交流イベントの実施及び県外大学とのUターン就職にかかる連携を強化

## 事業の概要

### 県外大学とのUターン就職促進協定

- 本県出身者が多くUターン対策に協力的な大学と連携協定を締結し、大学毎の状況に合わせた実効性の高い取り組みを実施

### 福岡県内大学対策強化

- 他県の学生と交流のある県内学生就職支援団体と連携して県内企業と福岡県内学生の交流会を開催



# (新)建設業における担い手確保加速化事業費

## 事業の目的

【建設企画課 予算額6,545千円】

- 建設業における担い手確保を促進するため、WEBやSNS等を活用した戦略的な情報発信や経営者向けの啓発セミナー等を実施

## 事業の概要

### 〈担い手向け〉

- ONなび上に建設業に特化した特集ページを制作し、特集記事や動画などにより建設業の魅力を発信

- 就職説明会など主要イベントにあわせ、工業高校生などにターゲットを絞ったWEB広告により特集ページへ誘導し、さらに企業情報や求人情報等へつなげる

### 〈企業向け〉

- 経営者の意識啓発を目的とし、「働き方改革」、「ICT利活用(生産性向上)」、「人材確保」、「女性活躍」の4テーマでセミナーを実施



# 多文化共生推進事業費

## 事業の目的

【国際課 予算額5,449千円】

- 海外との交流の歴史など長崎県の特性を活かしつつ、多文化共生の拠点としての日本語教室の設置を促進し、外国人にも選ばれる長崎県づくりを推進

## 事業の概要

### <地域日本語教室とは>

単に、地域住民が在住外国人に日本語を教える日本語学習の場としてだけではなく、外国人住民への情報提供の場や災害時のセーフティネットとしても期待。県内の教室数を令和6年度までに11教室とすることを目標。

### <令和4年度の取組>

- 市町向けセミナー・研修会の実施を通じ、市町の自主的・積極的な取組を促進
- 日本語教育ボランティア育成研修を開催し、外国人に日本語を教えるボランティアを育成
- 日本語教育の実務経験等を有する日本語教育等推進員を設置

※来年度以降、モデル教室の設置等を通じて、県内への教室設置を進めていく。

# 次世代農業女子発見・育成事業費

## 事業の目的

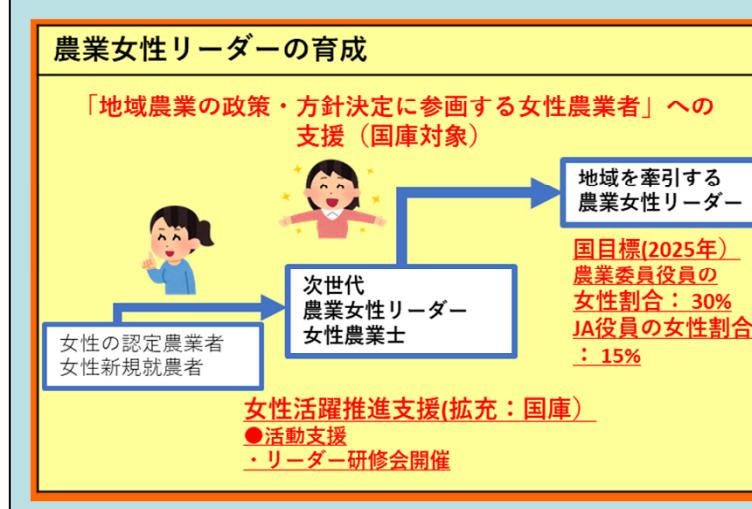
【農政課 予算額1,022千円】

- 女性農業者が地域農業の取組等への方針決定に参画できるよう、地域をけん引する「農業女性リーダー」の育成を推進

## 事業の概要

### 農業女性リーダー育成研修の実施

- ◆地域農業をけん引する女性農業者の育成に向けたリーダー研修会を実施



# (新)世界遺産を未来につなぐプロジェクト事業費

## 事業の目的

【文化振興・世界遺産課 予算額3,762千円】

- 「にぎわいのある長崎県」を目指し、離島・半島に点在する潜伏キリシタン関連遺産の構成資産等が連携できる取組を推進

## 事業の概要

### ○「世界遺産巡礼の道」等を活用した連携促進

- ・来年度に控える世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録5周年を見据え、世界遺産全体として連携できる取組について、地元関係者を中心に検討
- ・令和5年度に本格的な事業化ののち、事業改善等を行いつつ、国民文化祭の開催が予定される令和7年度以降の事業の自立・定着を目指す。

### ○地元関係者や行政が集う情報交流会の開催

### ○小中学生向け世界遺産学習の実施等



# (新)長崎の「食」の魅力発信事業費

## 事業の目的

○県産食材のブランド化を推進するため、本県食材の「食」の魅力づくりに取り組むとともに、デジタルマーケティングを取り入れた情報発信を実施

## 事業の概要

### デジタルマーケティングを取り入れた情報発信

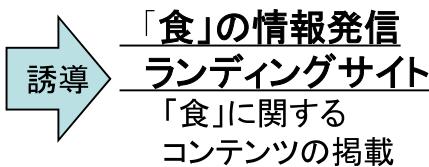
#### 従来

- ・マス広告
- ・店頭PR

#### R4 デジタルマーケティングの導入

- 動画広告
- SNS
- 動画共有サービス等

オンラインでの情報発信の効果検証・改善などを行い、PDCAサイクルを回す



評価・分析  
ターゲット層や  
手法などを更に  
明確化

### 情報掲載

### 料理人による食の情報発信事業

県内料理人を対象とした県産食材の利用促進やメニュー開発を支援し発信

### 県産酒と地魚「手軽に堪能」事業

飲食店を対象とした酒と魚のマッチング会やイベント等を通じたPRの実施

### ホテル・料飲店フェア等

富裕層が利用する県外ホテルなどで県産食材を活用したフェアの開催、情報発信等を実施

# インバウンド対策関連事業費

## 事業の目的

【国際観光振興室 予算額 70,436千円】

- インバウンドの受入再開を見据え、観光コンテンツの磨き上げや戦略的な情報発信を展開し、地域間競争に遅れることなく早期の需要回復を図る

## 事業の概要

### インバウンド向け戦略的プロモーション強化事業費(予算額56,963千円)

<各国メディア等と連携したプロモーション、デジタルマーケティング>

<富裕層・中間層の受入強化>

- ◆ アウトドアやアドベンチャーツーリズム、農泊等の推進
- ◆ ハイクラスホテルの整備等を見据えた受入拡大
- ◆ スポーツツーリズムの推進

<「世界遺産巡礼の道」を活かした受入拡大>



### (新)ディスカバーNAGASAKI・周遊促進事業費(予算額13,473千円)

- ◆ 地域が取り組む観光コンテンツ磨き上げの支援
- ◆ 公共交通機関やレンタカーを活用した周遊促進対策



# (新)プロスポーツでふるさと元気アップ事業費

## 事業の目的

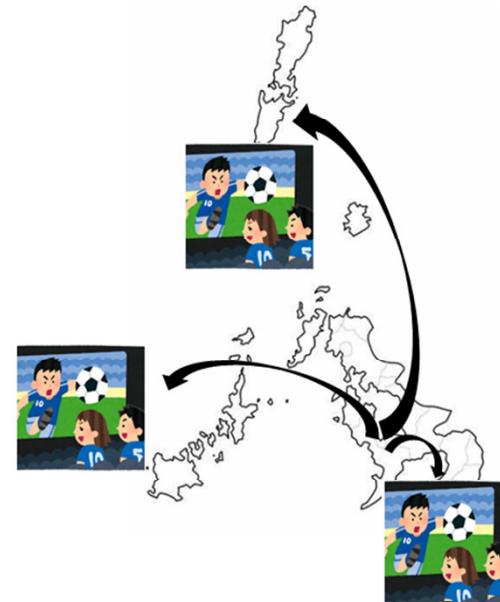
【スポーツ振興課 予算額 2,308千円】

- 県民の郷土愛を育むなどプロスポーツが地域にもたらす効果を最大化するため、県と市町が一体となって地域のにぎわいづくりを促進

## 事業の概要

### パブリックビューイングの実施

- ◆普段スタジアムに来ることができない遠方地域でパブリックビューイングを実施
- ◆プロスポーツの魅力を感じてもらうとともに、ホームゲームへの誘客を促進



### アウェイ客へのおもてなしツアー

- ◆スタジアムに来場されたアウェイ客向けの県内周遊ツアーを実施
- ◆試合観戦だけでなく、各市町の魅力を知ってもらうことで、リピーターとしての来訪につなげる



# 市街地再開発費(幸町地区優良建築物等整備事業)

## 事業の目的

【住宅課 予算額 105,969千円】

- 賑わいの空間創出や良好な市街地環境の形成を図るため、国の優良建築物等整備事業を活用し、長崎スタジアムシティプロジェクトに対する支援を実施

## 事業の概要

<事業期間>令和4年度～令和6年度

<負担割合>国1/3、県2/15、市3/15、民間1/3

## <補助対象>

- ・人工地盤(広場・通路)の整備
- ・オフィス・商業棟(北棟・南棟)の共同施設整備
- ・立体駐車場の整備 など



【(株)ジャパネットHD提供資料より】

# (新)みんなで創る！ながさき国際文化芸術プロジェクト事業費

## 事業の目的

【文化振興・世界遺産課 予算額32,714千円】

- 地域文化資源の磨き上げや若者の地域文化芸術活動への参画等を推進

## 事業の概要

### ながさき国際文化芸術祭（仮称）の開催

- ・文化芸術の磨き上げに取り組む市町の支援及び総合芸術祭として一体的に発信
- ・伝統文化、芸術文化（音楽、アートなど）、文化芸術を通した国際交流の3本柱を予定

### 若者の地域文化芸術活動への参画促進

- ・若者が地域の文化芸術活動に参画することにより「ながさき愛」を育み、郷土への誇りを醸成することにより、若者人口定着を推進

### 文化芸術を通した関係人口の創出・拡大

- ・訴求力のあるクリエーターを招聘し、参加者と地域の交流が継続する活動などを展開し、関係人口の創出・拡大を促進

<R4の取組例（予定）>

ファッションデザイナー×五島列島

# (新)国民文化祭等に向けた準備の推進

【文化振興・世界遺産課 予算額109,431千円】

## 事業の目的

【障害福祉課 予算額2,953千円】

- 令和7年度に開催予定の「第40回国民文化祭」及び「全国障害者芸術・文化祭」に向けた準備等を実施

## 事業の概要

### <国民文化祭とは>

- ・四大行幸啓の一つであり、本県開催は40回目にして初。
- ・2025年(令和7年)は、長崎県の文化振興、平和推進、国際交流等における節目の年。
- ・地域の特色ある文化芸術活動の活発化とともに、本県の魅力発信や観光振興、まちづくりにつなげる。
- ・全国障害者芸術・文化祭についても同時開催。

### ○「国民文化祭」の開催に向けた取組

「国民文化祭」に向けた準備経費及び文化基金への積立

### ○「全国障害者芸術・文化祭」の開催に向けた取組

「全国障害者芸術・文化祭」に向けた準備経費

# 再生可能エネルギー・電気自動車等導入促進事業費

## 事業の目的

【地域環境課 予算額 30,036千円】

- 脱炭素・資源循環型の持続可能な社会の実現に向け、太陽光発電の導入や自動車の電動化等を推進

## 事業の概要

- 「第2次長崎県地球温暖化(気候変動)対策実行計画」に掲げる「2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で45.2%削減」という目標に向け、あらゆる主体と連携しながら、以下の取組を実施

### <主な取組内容>

- ◆(新)県有施設の省エネ診断
- ◆(新)県有施設への太陽光発電設備の導入可能性調査
- ◆(新)ZEH(※)プランナー等育成研修
- ◆ディーラーと連携した電気自動車等の導入促進キャンペーン
- ◆工務店・中小企業向け省エネセミナー

(※)住宅の高断熱化や高効率設備により省エネに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間消費量が正味で概ねゼロになる住宅



# 跡地活用検討経費

## 事業の目的

【県庁舎跡地活用室 予算額 85,861千円】

- 歴史を活かした賑わいの場の創出に向け、県庁舎跡地整備基本構想の具体化を図るとともに、跡地の先行整備による暫定供用を開始

## 事業の概要

### 基本構想の具体化、情報発信

R4当初予算

- ・基本構想の具体化に向けて、専門家等への意見聴取及びポスター掲示等の情報発信を実施

### 石垣顕在化・旧第三別館活用検討

R4当初予算

- ・活用手法や費用等について、専門家の意見聴取や詳細調査等の実施

### 跡地の先行整備（暫定供用）

R4当初予算・6月補正予算

- ・オープンスペースとして暫定的に使用するため、段階的整備により地域の賑わいを創出



〔先行整備イメージ〕

### 跡地の運営、調査・検証

6月補正予算

- ・様々なイベント等を企画・実施し、利用状況等の調査・検証を行うとともに、効果的な機能整備や運営の仕組みづくりを推進